学校番号	119

令和３年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「数学 B」　（数研出版）						
副教材等	3TRIAL 数学Ｂ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、
「課題を理解する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返る」という一連の過程を意識しましょう。また、ときに周囲と協力し、議論する中で課題解決を目指します。
・問題を解く用のノートを用意してください。問題はノートにしましょう。その際に、黒板を写すだけでなく、先生の発言や、自ら気付いたことを書くようにしましょう。
・学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。質問や不明点あれば、必ず、誰でもいいので聞いて解決しましょう。

2　学習の到達目標

「確率分布と統計的な推測」、「数列」、「ベクトル」についての、概念、基本知識・技能を修得します。また、事象(日常での事象)を数学的に考察・表現する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身につけることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	「確率分布と統計的な推測」、「数列」、「ベクトル」の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、「確率分布と統計的な推測」、「数列」、「ベクトル」における数学的な見方や考え方を身に付けている。	「確率分布と統計的な推測」、「数列」、「ベクトル」において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	「確率分布と統計的な推測」、「数列」、「ベクトル」における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業の様子 定期テスト アンケート	授業の様子 単元テスト 定期テスト	授業の様子 単元テスト 定期テスト	授業の様子 単元テスト 定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td rowspan="2">ベクトル</td><td>平面上のベクトル</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a:ベクトルに関心を持ち、活用しようとしている。
b:ベクトル以外の分野(図形や座標)について、ベクトルの考えが有効であることに気付き、活用することができる。
c: ベクトルの意味・概念、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの表現方法を理解した上で、簡単な計算や問題を解決できる。
d:ベクトルの意味・概念、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの表現方法について理解している。</td><td rowspan="2">授業の様子
単元テスト
定期テスト
アンケート</td></tr>
<tr><td>空間座標とベクトル</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td rowspan="2">数列</td><td>数列とその和</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a:数列に関心をもち、活用しようとしている。
b:数列、漸化式、数学的帰納法の公式が生み出される過程を理解させ、著金額の元利計算などを考え、理解できる。
c:数列と漸化式について、簡単な問題を理解し、解決できる。
d:数列と漸化式の意味・概念、等差数例とその和、等比数列とその和、数列の表現方法について理解している。</td><td rowspan="2">授業の様子
単元テスト
定期テスト
アンケート</td></tr>
<tr><td>漸化式と数学的帰納法</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

3学期	確率分布と統計的な推測	確率分布	○		○	○	a:確率変数、期待値、平均、標準偏差、分散、分布 に関心をもち、活用しようとしている。 b:確率の理論を統計に応用し、それらを活用し、自ら見つけた事象について、統計処理ができる。また、コンピュータも利用して、統計処理ができる。 c: 確率変数、期待値、平均、標準偏差、分散の意味、分布の意味・表現の簡単な問題を理解し、解決できる。 d: 確率変数、期待値、平均、標準偏差、分散の意味、分布の意味・表現方法を理解できる	授業の様子 単元テスト 定期テスト アンケート
		正規分布	○		○	○		
		統計的な推測	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c: 数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。